

「豊太郎は最低だ！！について」

I. まず初めに私がこのテーマを設定した動機についてだが、私がこの舞姫を読み終えた時にうけた第一印象というのが、「**豊太郎は物事を大袈裟にふくらまして嘘をついているイヤなやつだ**」という悪印象が強かったので、もっと具体的にどのような点が私にそのような印象をつけたのか明らかにしたいと感じたのが、主な動機である。

そして、このレポートでは、舞姫の本文での豊太郎・エリス・相沢などの登場人物が繰り広げる、様々な人間模様の中での豊太郎の発言や行動を取り上げ、それがいかに大袈裟かつ矛盾しているか、又はこのようにして改善すべきだというのを自分の視点から検証していき、最終的に「**豊太郎は大袈裟でかつ自分勝手な嘘つき野郎で自分の非を認めない最低なやつだ！！**」という結論になることを主張していきたい。

II、私がこの物語で、まず第一に念頭に置かなければならないのは、この文章は豊太郎が書いているという点である。それはつまり、自分にとって都合の悪い行動や発言・事実をいくらでも隠ぺいできるし、またその逆の、好印象を持ちやすい行動や発言を膨らまして読者を欺くことだって可能であるということである。

まず一つ目「この交際疎きがために、……なかだになりける。」という文章である。これは、豊太郎がビールジョッキも取り上げず、キューもとらないことを周りの人々が嫉妬し、うたがい、妬んでいるという周りの態度について、自分は交際下手でそのようにふるまってしまう性格であるだけなのに、なんでこんな態度を受けなければならないのか！と訴えている文章である。これに対し私は、豊太郎は交際下手なのではなく、ただ社交性がないだけであって、ほんとうに気の合う人々や、身分の上の者など自分にとってプラスになるような人物にのみ関係を充実させ、その他の人々には無関心でただ何もしないから妬み嫉妬が生まれるのではないかと考える。つまり、**交際下手なんかではなく、ただ人づきあいをしない（社交性に乏しい）だけなのだ。**

それに加え、この交際下手であるという発言を駆使することで、エリスとの出会いをより感動なものにしようとしている。それは「今この所を……愛らしき頬を流れ落つ。」という、つまりこの世のものとは思えないほど美しい女性がいて、普段交際下手である性格であるにもかかわらず、自分から思わず声をかけてしまった…という内容である。交際下手であった自分がめづらしく声をかけたことで、ただ事ではない出会いというようなシチュエーションにしているが、

私の視点からすれば、先ほど述べていたように交際下手なわけではないのだから、単にかわいかったからナンパしたのをドラマチックにただけであるにとらえられる。このことから、**豊太郎は言葉巧みに自分の非を覆い隠し、人を欺けるヤツだ**と考えられる。

次に「大洋舵を失ひし……耐忍してこれを実行することしばしばなり。」という文章である。これは、相沢からエリスとの関係を断てと言われて、悩んだ末に友人の言葉に約束し、そこから1ヶ月の月日が流れ、相沢からのロシアへの仕事の誘いがあり、それに承諾するという文章であるが、この中で豊太郎は、自分のための発言は断り切れずに承諾してしまうという癖があり、過去にも同じような出来事が多々あったと主張しており、エリスとの関係を断つことを承諾してしまったのはしょうがないことであると述べている。これは、また私の視点から見ると、**まず第一に後先考えずに、すぐに承諾してしまうことはよくないことは明らかであるのだが、さらに昔からの性格だから仕方ないというようにしてしまう部分が、さらによくないととらえる。**さらにその後、後先考えない発言をしてしまったにもかかわらず、一ヶ月間なにもしなかったという事実をしれっと述べている。ここも非常に許せない点であると考えている。

次に、「我が学問はかえりみぬ。されど……続きぬがあるに。」という文章である。これは、豊太郎はドイツでエリスと出会ったために学問が衰えてしまったが、知識を総合的なものへと発展させることができ、その部分では成長することができたのだ、と述べている文章であるが、これも私の視点から見れば、確かに総合的な知識がついたことはすごいことなのかもしれないが、それはドイツで学問が衰えてしまった事実をかすめさせるために、又「**ドイツでエリスと過ごしていた日々は遊びだったんじゃない！しっかりとした力につながったのだ！！**」と自分の行動を正当化するために書いたのではないかと考える。

最後に「私の脳裏は一点の彼を……残っているのだった。」という文章である。これは一番最後の文章で、豊太郎がさまよい、体調を崩してしまい寝込んでいる間に相沢が、エリスとの関係を断つ約束をしたことを打ち明けて、エリスが発狂し、自分のしたあやまちに後悔し、それと同時に相沢への配慮に対して感謝と憎しみの感情が入り交じっているのだという内容である。これも自分の視点から見ると、**豊太郎が後先考えずに発言行動し、事態が悪い方向へふくらんだ結果が返ってきたことなので、明らかに豊太郎発信で起こった惨事であるにもかかわらず、「相沢のよけいな言葉を言ったのだ」と心密かに憎しみがこみ上げているのだ。**これに対して、豊太郎はなんと自分勝手であろうかと感じる。

Ⅲ、本文からいくつか抜き出し、自分の視点で豊太郎の発言や行動を検証して

きて、この人物に存在している欠点がいくつか浮上してくる。それは、Ⅱで赤字で述べてきたところのように、豊太郎は自分でしてきた悪い行動や欠点を言葉巧みに覆い隠し、言葉では後悔している反省していると言っても、その他の文章は自分の行動を正当化しようとしていて、完全に自分の非を認めている様に見せかけているのだ。本当に悪いことは、エリスを欺いたことではなく、欺いた彼女に対して最後まで面倒を見ず、さらに心からの反省をしていないというまさに今の豊太郎が一番最低なのであると私は考えている。

以上のことから豊太郎は本当に最低なのだ！！！！